

Q-NIITO海外法人だより～タイ～

2025年3月 Vol. 12



《タイの祭りと風習》ご紹介 《地理環境》

タイ王国（英語ではThe Kingdom of Thailand）は、東南アジアの中心に位置する立憲君主制国家です。

タイ王国の総面積は約51万3,120平方キロメートルです。これは日本の約1.4倍の大きさに相当します。北にミャンマーとラオス、東にラオスとカンボジア、南にマレーシア、西に再びミャンマーと接しています。西側にはアンダマン海、東側にはタイ湾が広がり、これらの海域はタイに豊富な海洋資源と観光資源をもたらしています。地理的には、国土は大きく4つの地域に分けられます。

- 北部
山岳地帯で、多くの自然公園や歴史的遺産があります。
- 東北部（イーサーン）
メコン川が流れ、ラオスとの国境に接する乾燥した地域です。農業が盛んで、タイの米の大部分がここで生産されています。
- 中央部
首都バンコクを中心とした肥沃な平野が広がり、主要な農業地帯となっています。チャオプラヤー川がこの地域を流れ、稲作に重要な役割を果たしています。
- 南部
マレー半島の一部で、リゾート地が多く、タイ湾とアンダマン海に面しています。ゴムの生産が盛んな地域でもあります。

《お祭りの紹介》

《王室耕作儀式》



タイで最も愛されているお祭りのひとつです。2025年は5月に予定されているこのイベントは、この国の奥深い農業のルーツを紹介する活気に満ちたショーケースであり、地元の人々にとっても素晴らしい文化体験です。

王室の耕作儀式

タイ語で「ブラ・ラーチャ・ピーティ・チャロット・プラ・ナンカーン・レーク・ナー・クワン」と呼ばれる王室の耕作儀式は、田植えの季節の始まりを告げる荘厳な行事です。バラモン教と仏教の伝統に彩られたこの儀式は、政府と農業の関係を象徴し、国の繁栄と恵みを保証するものです。このイベントのルーツは1000年以上前に遡ることができ、タイの文化と精神性を深く祝うものとなっています。

セレモニーの意義

壮大なワット・ブラケオと王宮の正面に位置する広大な野原、サナム・ルアンで行われるこの儀式は、タイ国王または任命された王室代表によって執り行われます。宗教的な儀式と古代の農耕儀礼を融合させ、肥沃な土地と豊かな収穫を祝福します。この儀式のハイライトは、牛によって神聖な区画を耕すことであり、その後、その年の農作物の収穫量を占う手の込んだ儀式が行われます。

《タイの国花》

ラチャブルック花



黄色で美しい花束です。タイ人はこの花の黄色を仏教の色彩とその栄光それは善行をしようという決意を示しています。2月から開花が始まり、2月から5月開花すると木は葉を落とし、木全体に明るく黄色の花だけが残ります。

《南部の伝統》



ピー・タ・コンは、恐ろしい絵が描かれた仮面や絵の具で描かれた仮面をかぶり、布切れを縫い合わせて作った衣装を着る演劇の一種の名前です。彼らはパレードに参加し、ブンルアン祭り中に興奮と楽しさと喜びを生み出すためにさまざまなジェスチャーを披露します。これはルーイ県ダンサイ郡でのみ見られるゲームです。

《タイのデザートのご紹介》

タイのデザートのご紹介
さまざまな祭りでお菓子
ソングラーン祭り

ソングラーン祭りは毎年4月13日に行われます。タイの人々はそれをタイの新年と考えています。使用されるデザートは次のとおりです。



1. カラマエ



2. カオ・ニオ・ダエン

仏教の四旬節

仏教の四旬節の初日は、旧暦の8月1日の欠けた日です。この日は僧侶が寺院に滞在しなければなりません。雨季なので、3か月間は外出したり他の場所に宿泊したりしないでください。人気のデザートは次のとおりです。



1. カオ・トム・マツト



2. クラーアイ・ブアッド・シー

タイのサラットデー

タイのサラットデーは、太陰暦の10月15日の欠けた日にあたります。使用されるデザートには、カノム・クラヤサートなどがあります。



クラヤサート

旧暦3月に功德を積む

東北地方の功德を積むお祭りです。ブン・カオ・ジー祭りととも呼ばれるこの祭りは、一年で最も大切な時期に、寺院に住む僧侶たちの罪を償うために供える食べ物を準備する祭りです。旧暦の三月のお祭りで使われるお菓子には以下のものがあります。



1. 蒸し餅



2. カオ・トム・マツト



3. 焼き飯

旧暦10月に功德を積む

旧暦10月の功德儀式は、旧暦10月の最初の欠けた日に行われ、南方地域の祭りです。それは功德を積み、その功德を亡くなった人々と分かち合う行為です。旧暦の10月に功德を積むために使われるお菓子には以下のものがあります。



1. カノム・ラ



2. カノム・コン



3. カノム・サバ



ロークラトンは、ロークラトンまたはバスケット流しといい、タイ王国全土で陰暦12月の満月の日を中心に開催される祭り。毎年11月頃に行われるソングラーンと並んでタイを代表する祭りです。

概要

農業の収穫に感謝し、水の女神コンカーに祈りをささげ、罪を謝罪し、自らを清める祭りです。紙やバナナの葉で作った灯籠を川に流します。バンコク、スコータイ、チェンマイ、ターク、アユタヤにおけるイベントが有名です。

イーペン祭り

タイ北部のロークラトン祭りは、「イーペン祭り」と呼ばれて、チェンマイにおいては2日間にわたって行われます。カレンダー上の日には「小クラトン」と呼ばれ、その翌日は「大クラトン」と呼ばれます。小クラトンの日には切利天と呼ばれる熱気球を空に飛ばすことが許されます。しかし大クラトンの日には熱気球を飛ばすことは許されていません。大クラトンの夜はターペー通りで2キロメートル以上にわたる壮大なパレードが行われます。

毎年この時期が近づくと、灯籠流しに使用されるグッズが、スーパーを始め至るところで売られ始めます。

《北東部の伝統》



東北地方の有名な郷土イベントの一つブン・バンファイ(ロケット祭り)。

バンファイは東北弁で「空へ打ち放す砲撃能力が充てんされた竹」を意味します。手作りバンファイはふつう様々な度式で行われます。

ブン・バンファイは東北地方のさまざまな県で、毎年陰暦6月(現暦5月頃)開催され、その中で最大かつ有名なのはヤソートン県とカラシン県です。通常、農作物の植え付けの前に神々に豊作を祈願するためのものですが、この祭りでは、1 kg から 120 kg の火薬が入った自家製のロケットが空高く打ち上げられ、近年のハイライトにもなっています。ロケットが空高く上がれば、雨に恵まれ五穀豊穣と言われています。